

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

| | |
|-----------------|--|
| 研究題目 | 心不全パスにおける薬剤師の取り組みと導入による成果 |
| 意義・目的 | 心不全の患者さんは近年増加を続けており、高齢化の進行によって、心不全増悪を防ぐために必要な食事や服薬などの療養管理はより困難になっています。当院では2023年に自宅退院を目指す心不全患者さんを対象とした「心不全パス」を導入し、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士といった各職種からの療養指導を標準化することで入院期間の短縮や再入院の予防に繋げることを目指しています。心不全パスの導入により、薬剤師は通常行っている服薬指導に加えて退院に向けた自己管理指導とその評価、必要に応じて患者さんのご家族にも服薬指導を行うようになりました。そこで、本研究では、心不全パスにおける薬剤師の活動を報告するとともに、導入による成果を調査します。 |
| 研究期間 | 当院病院長許可日（利用開始日）2024年6月6日～2024年12月31日 |
| 対象患者 | 2022年8月1日～2023年10月31日もしくは2023年8月1日～2024年10月31日の期間中に当院の循環器科で入院された心不全患者さんで、自宅退院された患者さん |
| 研究内容 | 電子カルテより「利用する情報の項目」を収集します。抽出したデータを基に、記述統計を行います。また、心不全パス導入前の患者さんと導入後の患者さんの2群に分け、入院中の患者さんご家族への服薬指導状況、薬剤師による処方内容や薬の管理方法への介入状況等について統計処理により検討します。なお公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。 |
| 利用する試料・情報の項目 | 患者情報（患者ID、年齢、性別、入院診療科、入退院日、退院先、家族構成）、Mini-Mental State Examination [*] （MMSE）、入院前後の薬の管理状況（管理者、投薬形態、管理方法等）、入院中から退院時までの処方情報、常用薬レポート内容、入院中の服薬指導レポート記載内容、薬剤師による医師への疑義照会内容、退院時薬剤情報提供書の記載内容、血液生化学データ、生理検査データ 等 ※認知機能を客観的に評価するための検査 |
| 試料・情報の他機関への提供有無 | <input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外） 提供方法： <input checked="" type="checkbox"/> なし |

| | |
|---------------|---|
| 研究組織 | <p>研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 横手 克樹</p> <p>共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし</p> <p>試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし</p> |
| 本研究に関する当院の連絡先 | <p>研究責任者： 島根県立中央病院 薬剤局 横手 克樹 電話：0853-22-5111（代表）</p> <p>事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）</p> |
| 個人情報の保護 | <p>当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL：https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy</p> |
| 結果の公表 | <p>研究の結果は、第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会にて口頭発表として公表する予定です。</p> |
| 備考 | |